

# 始球式



雨・霧の中 ハッスルプレーで  
元気印

## 6月定例会 6/14~16

臨時議会専決処分・補正予算	02
6月定例会 補正予算・採決結果	02~03
一般質問~町政を問う	04~08
請願・発議案・討論	08~09
農業委員任命・人権擁護委員推薦	09
保育園増築工事に関わる調査特別委員会報告	10
委員会レポート	11
町民登場	12



津南町

2023年7月20日 発行

No.228

Tsunan-Town

# 議会だより



上位独占の津南チーム



津南町議会

検索

[写真] ニュー・グリーンピアカップ  
ゲートボール新潟オープン 2023 6/11 ~ 12

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 恩田 稔

3年間新型コロナウイルス感染症との戦いでしたが、高齢者の方は6回のワクチン接種を終え、ようやく収束が見えて来ました。また5月8日から感染症の分類もインフルエンザと同じ5類になりマスク着用も緩和されホッとしているところですが、今本格的な夏に突入し「津南まつり」や「ひまわり広場」も賑わいをみせる事でしょう。

さて本6月議会では一般質問に8人が立ち、請願や発議案も活発に論議され農業委員18人の任命同意も全員賛成で可決いたしました。

### 第3回臨時議会

(5月19日)

令和5年度

#### 一般会計補正予算

#### 専決処分(補正第2号)

補正額	1,535万円
ニュー・グリーンピア津南整備温源泉ポンプ入替修繕	1,331万円
ワクチン等国補助金返還	124万円
石坂トンネル内補修	80万円

#### 専決処分(補正第3号)

補正額	708万円
低所得子育て世帯特別給付金	
児童一人あたり5万円他事務費	308万円
道路見倉橋手前歩道修繕	400万円

#### 補正予算(第4号)

補正額	1億1,099万円
総額(補正後)	74億5,261万円

#### 社会福祉費

物価高騰支援として在宅介護手当受給者一人3万円、重度心身障害者見舞金受給者一人3万円、子育て世帯の児童一人3万円、低所得者世帯5万円、ひとり親世帯3万円、福祉介護等事業者5万円、30万円

#### 商工振興費

事業者等省エネ設備導入支援  
一事業者限度額50万円

#### 住宅費

省エネ住宅改修補助金 限度額30万円

#### 教育費

小・中学校給食食材高騰分補助

194万円

### 第2回定例会

(6月14日)

#### 一般会計補正予算

#### 補正予算(第5号)

補正額	5,972万円
総額(補正後)	75億1,234万円

#### 財産管理費

大割野駐車場消雪ポンプ改修

770万円

#### 交通安全対策費

カーブミラー等購入(十日町自動車学校寄付金を活用)

100万円

#### ニュー・グリーンピア津南整備費

380万円

放送設備、誘導灯等の改修

#### 農業振興費

米食味全国コンクールに向けた会計年度任用職員雇用ほか

237万円

用職員雇用ほか

## 商工振興費

事業継承支援補助、物産販路

232万円

拡大

## 観光費

萌木の里ほか施設改修

451万円

## 道路橋梁費

寺石山伏山線修繕、赤沢消パ

850万円

イポンプ改修

## 総合センター管理費

総合センター照明LED化改修

1,525万円

## 文化財保護費

文化財発掘調査等地域おこし協

417万円

力隊経費

## なじよもん管理費

危険樹木伐採、小型除雪機購入

185万円

## 第2回定例会 議案採決結果

議案番号	件名	表決状況											採決結果	
		滝沢元一郎	小木曾茂子	久保田等	桑原義信	江村大輔	石田タマエ	村山道明	吉野徹	栗原洋子	津端真一	草津進		風巻光明
議案第36号	津南町立津南病院就職支援金支給条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第37号	津南町新型コロナウイルス感染症防疫等作業に係る特殊勤務手当の特例に関する条例を廃止する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第38号	工事請負契約の締結について（津南町埋蔵文化財センター改築工事 展示工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第39号	令和5年度津南町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可
議案第40号	令和5年度津南町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第41号	令和5年度津南町病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	津南町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第4号	津南町議会会議規則の一部を改正する規則の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第5号	津南町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第2号	森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発議案第6号	森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第7号	福島原発事故による汚染水放出計画の再考を求める意見書の提出について	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	可

# 町政を問う!!

## 一般質問(8議員)

**1** **久保田等** 議員 (4ページ)  
 1. 子育て世代(若者)の人口増対策  
 2. ふるさと納税増(津南ファン増)対策

**2** **小木曾茂子** 議員 (5ページ)  
 1. なじよもの今後のあり方  
 2. 原発避難計画の具体化  
 3. マイナンバーカードをめぐって

**3** **桑原洋子** 議員 (5ページ)  
 1. 中長期計画と町づくりの中核的役割を担う病院建替えの進捗状況など伺う  
 2. 会計年度任用職員の実態と保育士配置基準改善を問う

**4** **桑原義信** 議員 (6ページ)  
 1. 新型コロナウイルス感染症第9波から町民の命と健康を守るために  
 2. 期日前移動投票所の実施を

**5** **吉野 徹** 議員 (6ページ)  
 1. 町公施設、公民連携での方向性は

**6** **村山道明** 議員 (7ページ)  
 1. 人口減少(子育て支援)等関連施策  
 2. スマート農業(通信情報)等関連  
 3. 津南病院運営関連

**7** **滝沢元一郎** 議員 (7ページ)  
 1. 地域計画策定の現状

**8** **江村大輔** 議員 (8ページ)  
 1. 津南町役場の事務機構  
 2. プラスチックのリサイクル

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## なぜ、本腰を入れないのか、ふるさと納税

町長 寄付したいと思う町の認知度が低いことや返礼品の品揃えや魅力が不足している点が伸び悩みの要因だと分析している。2月からアドバイザーとの打ち合わせで新規寄付者獲得とリピーターの確保を目標とさせて頂いた。受け身からプッシュ型の情報発信をする事とし、具体的な取り組み

町長 弥彦村は前年度より1億5千万円多い6億6千万円、三条市は前年度15億円から一気に50億円を突破した。他の自治体が増えている中、津南町は低水準で横ばい(厳密に言えば減少)となっている。要因分析はしたのか。また2月にアドバイザーを入れたが具体的にどのようなアドバイスを受けたか。

ふるさと納税伸び悩みの要因分析をしたか



久保田等 議員

みとしてはふるさと納税専用のSNSを活用したい。

津南町に寄付した事を印象強くする事が効果的であり、津南町に来てもらう事が大事である。

津南町の様子や事業者の紹介、キャンペーン等を定期的に発信し津南町の認知度を高めていく事が必要である。また、トウモロコシの収穫等体験型の返礼品開発やイベント型返礼品で津南町への関心を高めていきたい。

ポータルサイトを昨年3つから8サイトに増やした。今年目の目標金額は前年度1.5倍の3億円としたい。

子育て世代が増えない要因は何か?

町長 子育て世代を増やすには、住む所・女性が正職で働ける場・子育て環境の充実等、最低でもこの3本柱が揃わないと子育て世代は増えない。対策は。

町長 空き屋は214戸ある。(現在空き家バンク登録は3件のみ)女性に特化した企業誘致はしていない。子育て支援としてオムツの持ち帰りゼロ事業や、高校生の遠距離通学費補助事業を実施している。

臨時議会専決処分・補正予算

6月定例会補正予算・採決結果

一般質問

請願・発議案・討論

農業委員任命・人権擁護委員推薦

保育園増築工事に関わる調査特別委員会報告

委員会レポート

# コロナ自粛明けの町づくりをどうする



おぎそ しげこ 議員 小木曾 茂子

## なじよもんの今後は

**問** 埋蔵文化財センター設立後、なじよもんを子育て世代の要望に添って、家族で遊べる広場として解放してはどうか。

**教育長** 体験型学びの場として継続するので、大いに活用が望まれる。

**問** その内容や運営について、子育て世代による検討する場を設けてはいかがか。

**教育長** 皆さんの希望を聞きたい。

## 原発避難計画の具体化は

**問** 避難する小千谷市との協議は進んでいるか。冬季はどうするか。

**副町長** 5月、県と小千谷市の担当者が来訪し、顔合わせ、視察をした。

**問** 安定ヨウ素剤の確保と配布

は間に合うのか。乳幼児用のゼリー型の備蓄はあるのか。

**副町長** 錠剤は十日町保健所に確保されている。ゼリー状は他に備蓄されている。

**問** 最も危険が大きい乳幼児用の確保し、放射能放出後2時間までに服用するよう検証委員会では報告されている。事前配布が必要ではないか。

**副町長** 県と協力して対応していく。

## マイナカードをめぐる

**問** 町の交付率、申請時のトラブルはなかったか。

**町長** 63.5%。トラブルは確認されていない。

**問** 病院や薬局での、個人情報療情報の適正管理が懸念される。マイナ保険証を持っている。マイナ保険証は使えるか。

**福祉保健課長** マイナカードがあつても1年間は保険証が使える。

**問** 問題が噴出する中、相談窓口が必要ではないか。

**税務町民課長** 窓口を設けるかどうか検討したい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 医師確保への本気度が見えない



くわ ばら ようこ 議員 原 洋子

## 病院建て替えと医師確保への本気度は

**問** 医師確保には熱意と、中期計画にあるように医師採用担当者配置が必要だ。医師確保への本気度が見えない。

5月、当局と医師確保について意見交換会があつたが町長の姿はなかった。3時間の中で30分でも熱意を伝えて欲しかった。医師確保が喫緊の課題なら住民への説明、議会と合意で進めるべきでは。

**町長** 町民の皆様の命と健康を守る最後の砦として津南病院の診療継続に向けて取り組んでいる。特に常勤医確保はまだ結実していない。計画的雇用が可能となるように医師確保体制を整えていく。

**問** 医師確保に専念する職員を

検討してきたか。

**病院事務長** 私が兼務している。  
**町長** 院長・事務長を中心としているがもう1人手足となる人が必要ならつけないことも検討したい。

**問** 町づくりの中核的役割を担う病院建て替えは単体でなく恵福園、保健センター、商業施設等、町民が利用しやすく魅力ある環境整備が必要では。恵福園は建替えの準備があるが町の姿勢が見えない。まず恵福園と協議することではないか。

**町長** 人材確保が最優先であるが、日頃の諸課題も含め、話し合いの場は設けたいと考える。財政面や制度面を研究しながら、老朽化対応について町民の声を聞きながら対策を講じていきたい。



病院と恵福園をつなぐ命の渡り廊下

# 新型コロナウイルス感染症から命と健康を守れ



くわ 桑 原 よし のぶ 議員

**5類に移行されたが  
収束ではない**

**問** 津南病院で入院病床を確保できるのか。

**町長** 入院が必要と判断した場合、特定病床に受け入れられる。空きがないときは病院間調整を行いながら、入院対応を行う。

**問** 県は、施設内陽性者は施設内療養を行う方針だが、入院できるよう保障することが大事ではないか。

**町長** 医師が受診や入院の判断をする医療提供体制が示されており、必要時は受診・入院できるものと認識している。

**問** 施設職員、利用者への感染対策の資機材設備への財政措置が必要ではないか。

**町長** 医療資機材の供給、ク  
ラスタ―発生時の応援職員派

遣事業は当面の間継続。保健所の指導、助言、感染症専門家の派遣など必要な支援は継続と認識している。

**期日前移動投票所の  
実施を**

**問** 高齢化とともに平成20年30投票所が16投票所へ半減したことで投票に行けない人が多くなり投票率が下がる要因となっている。全国では84自治体が活用。投票しやすい環境を進めるために移動投票所の実施を伺う。

**町長** 役場での期日前投票を含め人員配置の検討を要すること、二重投票を防ぐためのシステム対応になっていないことから実施できていない。今年度実施自治体を視察し検討を進めていきたい。



期日前移動投票所

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 町公共施設の公民連携の方向性は



よし の 野 とおる 徹 議員

**事務事業見直しの中で**

**問** 事務事業見直しの中で公共施設の方向性など検討されているが、指定管理者制度と、通常施設管理委託の相違点、制度におけるメリット、デメリット、契約内容など伺う。

**町長** 指定管理者制度は、行政財産の中の公の施設の管理についての制度となる。一方、普通財産については、指定管理者制度の適用はできず、一般私法を適用することになる。その中で、指定管理者制度は、通常の管理委託と異なり議会承認が必要となる。メリットとして、民間が持つノウハウを生かしたサービス提供ができることなどがあげられる。

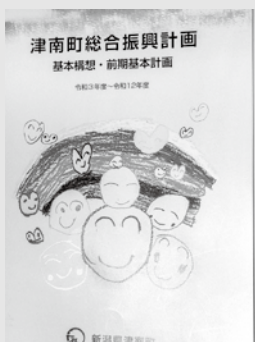
デメリットとして、自治体

が運営意識を持ちにくいことなどがある。

指定管理料や、リスクの分担については、ヒアリングを重ね、年度末の事業報告書など基として定めている。

**問** 見直しにあたって公の施設管理に指定管理者制度を活用する考えは。

**町長** 民間ノウハウを生かしたPFI・指定管理者制度など活用し、住民サービス向上と経費節減を目指し検討する。※PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法。



津南町の将来を決める  
総合振興計画

# 子育て世帯の収入増に行動を

**問** 出生増に結び付けられるために、若い共稼ぎ世帯の年収を増やす事に町は行動を起こすこと。町内事業者に対して町長自ら賃上げ等働きかけることが肝要だ。先般岸田総理は、少子化対策の「加速化プラン」①若い世代の所得を増加する。②子育て世帯に切れ目なく支援すると発表した。出生率低下の大きな要因は若い世代の所得問題があると思うが所見を伺う。

**町長** 国は少子化対策の一つとして、若者の所得を向上させるために最低賃金の全国平均を1,000円目標とした。従業員が、経営者は物価高騰の中、先



むら やま みち あき  
村山道明 議員

## 若い世代の給与所得アップに全力を

が見えず負担が増大する。事業負担が軽減されるよう中小企業への支援を強化し、賃金向上施策実施を求めていく。当町で賃上げ可能な事業者は取り組んでいただきたい。

## スマート農業事業はなにを行っている

**問** 情報通信農業は、水田給水栓センサー装置などで実証している。共同可能なものやアプリなど早期計画で導入できる事項を推進できないか伺う。

**町長** 令和3年度からの事業で本年度「米原・大井平地区」の水田圃場で自動給水装置、水位センサーなどICT機器で水管理が行えるか調査した。8月を目的に情報通信整備計画を策定する。自動給水装置や水位センサー導入は、集落地区単位での設置が望ましく合意形成が重要である。



水田給水栓センサー装置

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 将来の農地利用を含む地域計画策定は

**問** 人・農地プラン法定化の二環で、本年4月、改正農業経営基盤強化促進法が施行され、25年3月までに10年後の農地利用図面を含む地域計画を策定することになった。計画は地域の特性に応じた農地適正利用、多様な人材に係わる継続的営農などを盛り込むため集落や農地エリアの話合いが必要だ。本年農閑期での策定に向けて、その手法、態勢スケジュールを伺う。

**町長** 国は農地の集約化と担い手の確保育成を図るため、目指すべき将来の農地利用を明確にするよう市町村が地域計画を策定するとしている。県の計画策定方針では市町村が主体となって農委・農協・



たき ざわ げん いち ろう  
滝沢元一郎 議員

## 策定の手順は

土地改良区などと協働して一地区以上で進めることとしている。本年度は先行する地域を選定し、対象農家と協議しながら農地の出し手、受け手を把握し策定を進め、6年度末には全町を網羅したい。高齢化が進み、将来不安もある中、地域計画策定は意義があるものと考えている。

**農林振興課長** 本年はモデル地区を選定し、県振興局や農業委員会等と協力しながら進めていく。地区内一筆毎に出し手と受け手の意向を確認して10年後の計画を作成していくことになる。



農地、10年後の耕作者は

# 役場の事務機構変更の発案と経緯は



議員 江村大輔

事務機構の変更は大きなこと、議論はあったか

副町長 政策監は誰の発案だったのか。

副町長 町長をはじめ我々当局である。

副町長 政策監設置の意図や役割は庁舎内の職員に周知されていたのか。

副町長 課長会議等で設置する旨の話をしている。

副町長 政策監を設けての成果はどのようなことか。

副町長 庁舎内各課の調整など政策監に特化した仕事が増えてきた。

副町長 政策監は現在退職し、不在であるが今年度の体制は。

副町長 今年度中の設置は難しい。

副町長 政策監とDMO推進室に

兼務職員の配置は考えられなかったのか。

町長 政策監は自分がチームをつくるのではなく、それぞれのところに入っていくことが役割と考える。DMO推進室は、観光協会に事務職2名が配置されている。

副町長 政策監やDMOの組織体制が変わることを課長会議で議論したのか。

副町長 政策監とDMO推進室長を置くことは話をしたが、議論はしていない。

副町長 事務機構を変えることは大きなこと。課長会議でなぜ議論をしないのか。

副町長 必要性の話はしたが、細かいことは話をしていない。



議論することは大切なこと

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 請願

《津南町森林組合長より》

・森林整備を一層推進するための森林環境贈与税の譲与基準の見直しを求める請願

全会一致で可決

譲与額を森林の多い地域への配分を高めるよう譲与基準を見直すことを求める意見書を国に提出した。

## 発議

《議員提案小木曾茂子議員より》

・福島原発事故による汚染水放出計画の再考を求める意見書の提出

8対4で可決

今夏にも予定されている福島県沖への事故処理水の放出を再考するよう求める意見書を国に提出した。

## 賛成討論

桑原 義信

海に流そうとする水は、核燃料デブリに触れて放射性物質を含み、施設で処理し貯蔵している水、トリウムを含んだ原発の汚染水である。一般的な原発稼働している排水と違って事故によって起きた危険な物質が含まれている。危険なものを海や川に流さないのが基本である。

海は多くの漁業者がそこで生活している。そこで漁獲したものを私たちは食べるのだ。

汚染水がいつぱいになって、もうどうにもならないから海に流すのでは、問題解決にならない。あくまで企業と政府は、原発をつくった責任として、安全な処分を検討し最後まで対応することが必要である。海に流すなんてとんでもないことだ。よって意見書に賛同する。

## 賛成討論

風巻 光明

国では原発事故の汚染水をこの夏から125万トン海洋に放出する予定であるが、分かりやすく換算すると琵琶湖にコップ1/4程度流すのと同程度と考える。私は化学者ではないのでこれがどの程度生態系に影響するのか分からない



いが、国で行うのだから安全性は担保されているのだろうと思う。

しかし一方福島県民や漁業関係者は反対を貫いている。私はこの様な状況の中、強行する事は、余りにも拙速すぎると思う。漁業関係者や国民に安全性を丁寧に説明し理解を得るのが先ではないだろうか。また貯水タンクも余裕があると聞いているので、一旦立ち止まり慎重に行うことを求めたい。

この「発議」は中止とは言っていない。再考して欲しいと表現しているので私は賛成する。

## 発議

### 津南町議会委員会条例・会議規則の一部改正

議員定数減に伴い、常任委員会の定数、議案を提出する際の賛同議員数を改正した。

### 議員の請負状況の公表に関する条例

議員個人が町との請負があった場合、その内容を公表することを規定した。

## 人事任命

### 津南町農業委員会委員任命の同意

全員賛成で同意されました。

氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所	氏名(敬称略)	住所																																				
1	桑原 幸枝	下船渡己	3期	2	滝沢 芳則	赤沢	2期	3	河田 千春	上郷大井平	1期	4	大平 勝則	下船渡丁	新規	5	本山 和美	赤沢	新規	6	桑原 京子	下船渡甲	3期	7	渡邊 修	秋成	新規	8	藤木 正光	米原丙	2期	9	板場 勇司	下船渡丁	新規	10	涌井 益夫	上郷寺石乙	5期	11	樋口 則郎	中深見乙	3期	12	藤木 巖	谷内	1期	13	半戸 敬行	上郷子種新田	新規	14	藤ノ木 稔	中深見戊	3期	15	中村 敬二	上郷宮野原	1期	16	中山 國廣	外丸丙	3期	17	清水 茂實	下船渡丁	新規	18	藤ノ木 孝	秋成	新規

### お疲れ様でした

農業委員会長の涌井直さんは7月任期で退任されます。5期15年のうち後半3期は会長として務められ、議会にも出席いただき色々アドバイスを頂きました。長い間お疲れ様でした。

## 諮問

### ◆人権擁護委員候補者の推薦について

石沢 恵理子さん (上郷大井平)

石沢さんは津南町役場の保育士として長年勤められ、現在津南町社会福祉協議会理事及び保護司として活躍されており、人権擁護委員として適任であると全員賛成で可決しました。

これからますますのご活躍を期待いたします。

# 保育園増築工事に関わる調査特別委員会報告 (最終)

本特別委員会は保育園増築工事において令和3年度、7月と11月に行われた2度の入札が不落となった。議会で予算可決した案件が執行できなかったことについて一般質問などで答弁(回答)が不明瞭だったことから、原因を調査する目的で令和4年3月の臨時議会で承認され、設置されたものである。

当特別委員会では現在まで4回の質問状を提出した。その質問に対し前半は公表できる範囲内での回答にとどまった。また特別委員会では計14回の会議を重ね、回答内容の検証を行った。他に、工事関係業者に出向いて調査すると共に近隣の最近建設された保育園の視察見学も行い参考とした。

調査が1年に渡り長引いたのは町当局が「国土交通省」による「入札契約改善推進事業」の支援を受けることを決定し、本入札に関わる検証結果が出るまで非公開とされ、具体的な回答

が得られなかったためである。

さて調査結果については町からの回答が出るごとに、令和4年度の7月、12月議会報で詳細報告を行っているので、今回は主要項目のみに留める。

## 質問1 回答の概要

国交省の入札不落の検証が11月16日にほぼ完了したことにより具体的な数値を確認することができた。

**問1** 二度の不落によって既に着工し、支払い済で損失となった金額は。

**回答** 検証の結果、入札額と町の予定価格に大幅な開きがあったため、本保育園建設の基本設計と実施設計は使えないと判断し、設計費約3千万円は損失と考える。

**問2** 本工事の町の予定価格と入札価格の結果を回答願う。

**回答** 11月の第2回目の入札については、調整率などにより予定価格は電気工事を別として7億9483万円とした。最終入札価格は9億9500万円であり、約2億円の開きがあった。

**問3** 設計積算価格(予定価格)の国交省による検証結果は。

**回答** 検証では予定価格に対し実際は3億6000万円の超過であった。超過内訳は見積採用した調整率の影響が1億4400万円あり、その他物価変動の影響及び共通費の差額が大きかった。以上のことから予定価格は11億円が妥当としている。

結論として第1回目の入札での不落理由はウッドショックなどによる資材高騰だけではなく、実際は見積を調整した価格に大きな問題があった。2回目の入札に向っては、不落の検証に対し十分なリードタイムが取れず、

予算額が決まっていたことなどから、建設費やコスト削減などの見直しを満足に行う事ができなかった。その様な中、「入札範囲」を県内に広げれば落札する可能性があるとこのことで入札に臨み、結果的には町内業者2社でのJVによる入札となり、再び不落となったものである。

以上により特別委員会の調査は目的を達成し成果はあったものと考え、委員の賛同も得たため、本特別委員会の最終報告とする。

以上



造成した空き地

# 委員会レポート

Commission Report

## 全国町村議会 議長・副議長研修会

年に一度開催されている全国町村議会（北海道～沖縄まで）の議長・副議長の研修会が開催され、恩田議長と副議長が出席させていただきました。広大なホールには約1800人の議員が集まりました。

◆とき 5月23日(火)～24日(水)  
◆ところ 東京国際フォーラム

### ◆内容

1. 「町村議会の課題と今後の展望」  
講師 大正大学

教授 江藤俊昭氏  
2. 「町村こそデジタル化を」  
講師 ブロードバンドスクール協会

理事 若宮正子氏  
3. 「町村議会とハラスメント」  
講師 朝日新聞社編成本部  
次長 三島あずさ氏

### ◆研修内容紹介

特に1番の「町村議会の課題・展望」の一部を紹介する。

①議員のなり手不足の解消の誤解  
誤解1 議員報酬を増額すれば：

住民が納得しない。根拠を示せ。

誤解2 定数を減らせば：

なり手がいないなら議員数を減らせばは当選ラインが上がる。

誤解3 住民総会に変えれば：

首長との政策論争が出来るのか。

②なり手不足の要因

・ならない要因

議員の魅力が伝わらない。案件の悪さ。自分の仕事の方が良い。

・ならない要因

地域力の低下、兼業禁止など法律のしほり。

③解消の正攻法

・議会報告会・町民との意見交換会、政策サポーター、議会だよりのモニター（委員会に住民が入る）「議員学校」などを行うことが必要。

④議会改革

・「なれあい議会」は止めよう  
住民自治の根幹は議会である。自分の選挙のための当局とのなれあいはするな。

・当局案に修正も否決もありえる。それが議会だ。政治論争をしているのか、これは行政にも言えること。

### 研修を終えて

今津南町議会では定数削減を決定したほか報酬の検討を行っているが、議会・議員は住民のために何をすべきか改めて考え直す必要があると思いました。

研修会のほんの一端ですがご紹介いたしました。

【担当 風巻光明】

### 町事業を実施した 道路や事業者の成果巡視

◆とき 4月27日(木)  
◆ところ 町内7か所

### ◆内容

当日は、建設課・農林振興課職員からの詳細説明を受け、事業補助主体者代表から立ち合いを頂き活用成果を伺いました。

①町道大井平城原線・中深見堂平線改良舗装  
②大割野地内の菖蒲原線消雪パイプ布設及び中央線側溝改良工事

③株満作「乾燥機、精米機一式導入」  
④(有)河田農場「パイプハウス暖房装置一式」  
⑤(株)籠「トラクター・人参洗浄機・貯蔵施設他」現地にて意見交換を行いながら必要性を伺いました。

### 巡視を終えて

少子高齢化が進んでいる中で、生活道路改良の整備が求められている事。農業法人が集落内に設立されて今後地域農業の向上と共に役割や課題などを関係者と共有して行きたいと思えます。

【担当 村山道明】



導入された精米機



## 町民登場

たき さわ あつ こ  
滝 澤 厚 子さん(中子)



津南に嫁いでもうすぐ20年。  
今は龍ヶ窪の目の前の「Dining 里のほほえみ」  
のオーナーシェフをされています。

東京都葛飾区出身の厚子さんは、お父さんが津南町穴山の出身だったことから、親に連れられて、何度も津南町に遊びに来ました。津南町の子どもとも仲良くなり、その中の1人だった三男さん(みつお)さんと、小学校、中学校、高校と18才まで文通をしていたそうです。東京で商業科を卒業し、商社や、飲食店で働いていました。数年たったあと再び三男さんと連絡を取り、津南町へ遊びに来るようになりました。その後縁あって津南に嫁いできました。1年前の1月までは103才になった義母の面倒を見ながら、13人の従業員のいる農業法人の事務や子育てを夢中でやってきました。子どもたちも成人した為、自分の夢をかなえてみたいと思っているところに、「そば処源次郎」のオーナーからお店を譲りたいとのお誘いを受け、仲間の協力も得て、今年5月「Dining 里のほほえみ」をオープンすることができました。毎朝、竜神の名水を運び、地元の食材を使ったランチや、コーヒー、ところてん、かき水



などを提供しています。地元の方々や、観光客との話も弾み、忙しいけど、楽しい毎日を送っています。「町の観光パンフレットがすぐなくなってしまうの。ひまわり広場の宣伝もしたいし、観光協会の方、チラシやポスターを届けてくれないかなあ。」とお願いされました。「里のほほえみ」そのものの厚子さん。これからも頑張って津南町を盛り上げて下さいね。



これで最後となる編集委員 6人

7月22日は恒例の津南まつりが開催されますが、国道117号での民謡流しなどは今年で最後。何かちょっと寂しいですね。  
さて、議会も今年の秋は改選期を迎え、議会報も今回の発行が最後になります。各委員会の活動や、町政への一般質問など読みやすい紙面づくりに努めました。今後も工夫し、親しみやすい広報になるよう、取り組んで参ります。私達の編集後記も最後になります。4年間大変ありがとうございました。

編集後記